

Press

ロンドン、2016年2月25日

Primetals Technologies、ロシア・セヴェルスターリ社よりチェレポヴェツ製鉄所向けレードル炉を受注

- 新ツインレードル炉により年間 480 万トンの溶鋼を処理
- 転炉工場の年間生産能力は約 1030 万トンに増加
- 溶鋼処理設備の集約により運転コストを大幅に削減

Primetals Technologies は、ロシアの鉄鋼メーカーPAO Severstal(セヴェルスターリ)社よりチェレポヴェツ製鉄所転炉工場向けのツインレードル炉を受注しました。このレードル炉は 45 分で 375 トンの溶鋼を処理可能で年間生産能力は 480 万トン、これにより転炉工場の最大生産能力は、これまでの 950 万トンから約 1,030 万トンに増強されます。このレードル炉の増設により、工場内の溶鋼処理は 1 箇所に集約され、運転コストは年間約 1,000 万ユーロ削減されます。本プロジェクトの完工は 2017 年の初めの予定です。

ロシア西部・ボログダ州のチェレポヴェツコンビナートは、セヴェルスターリ社の「Severstal Russian Steel」(セヴェルスターリ・ロシア製鉄)部門の一部で、世界最大級の一貫製鉄所として 2014 年には 約 1,130 万トンの粗鋼生産を達成。鋼材製品の販売量は 1,060 万トンに上り、熱延・冷延鋼板、亜鉛めっき鋼板、および条鋼製品など、幅広い最終製品が生産されています。チェレポヴェツ製鉄所の転炉工場には生産能力 350 トンの転炉が 3 基ありますが、溶鋼の 2 次精錬が可能なレードル炉はこれまで 1 基のみでした。

今回当社は、ツインレードル炉、精錬設備、除塵システムのエンジニアリングを担当し、関連する電気機器およびオートメーション装置を含む主要機器を納入、さらには据付けおよび試運転の指導、オペレータへのトレーニングも実施します。一方、Severstal 社は技術資料の作成及び建設・据付けを担当します。今回の能力増強プロジェクトへの投資額は約4,300万ユーロ。Severstal 社と Primetals

Technologies は長年にわたって密接な協力関係を維持しており、直近で受注したチェレポヴェツ製鉄所転炉工場の二次除塵システムは、2014年末より稼働中です。



Primetals Technologies がロシア PAO Severstal 社のチェレポヴェツ製鉄所に納入するツインレードル炉の CG

原文プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。

www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

Primetals Technologies Japan 株式会社 総務部 〒108-0014 東京都港区芝五丁目 34番 6号 新田町ビル 9階 TEL(03) 5765-5231

Primetals Technologies 公式ツイッター: twitter.com/primetals

Primetals Technologies, Limited は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業にとって、エンジニアリングやプラント建設全般の、世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供します。鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野部門にも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重エグループで、株式会社日立製作所、並びに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足しました。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。発足時の従業員数は全世界で約 9,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: www.primetals.com

Head: Heiko Huensch

Reference number: PR2016021044jp